

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	市民交流プラザ運営管理事業	担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	任意の事務
	基本事業	安心して遊べる場の提供	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030205-01 補助	根拠法令・条例等	児童福祉法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和62年度に、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的に児童館が開館（久保ヶ丘地内）。その後、児童の健全育成のほか子育て支援拠点として新たな設置要望が高まり、平成15年度に守谷市児童館建設検討委員会が発足し、平成20年度に児童センター、家庭児童相談室、市民活動支援センター等が入る複合施設として市民交流プラザが開館した（久保ヶ丘地内の児童館は閉館）。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法 指定管理者制度（アクティオ(株)） ・指定管理期間 平成28年度～32年度 ・児童センター業務 児童に対する集団的・個別的な遊びの指導（季節行事、制作活動等）、体力の増進や情操を育む講座やイベント、地域活動支援（子育てサークル・子ども会等の育成・支援）、異世代交流事業（地域住民及び高齢者との交流や異世代交流団体の支援） ・施設貸出業務 施設の利用許可、利用料金の徴収・維持管理業務 施設・設備の日常的維持管理及び保守点検
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	※市民ギャラリー所管：生涯学習課、市民活動支援センター所管：市民協働推進課
0～18歳までの児童とその保護者に対して、児童が安心して遊べる場を提供し、健康の増進と豊かな情操の発達を促し、児童の健全な育成を図る。また、保護者同士の交流の場や子育てに関する情報を提供して子育て支援を行うとともに、地域の高齢者との異世代交流等、地域と連携した行事開催をとおして、地域コミュニティの育成を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
・0～12歳までの児童及び保護者に対しては、子育てに関する情報提供や居場所提供等の機能を十分に果たしているが、13～18歳の児童に関しては、来館者数が頭打ちとなっている。	【H30年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・～H30.4月 中高生利用内容の調査及び近隣中高施設の年間行事の把握 ・～H30.8月 近隣中高の行事開催時期と調整した事業及び活用機会の設定について検討 ・～H30.12月 次年度事業計画 【H31年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・H31.4月～ 事業実施
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
・来館者（児）がボランティアとして児童センターや地域で活躍し、地域全体の子育て意識が醸成されるよう、中高生に対する事業周知と事業参加及び活躍の場を提供していく。	

次年度のコストの方向性（→その理由）

<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	事業運営の面ではコスト維持であるが、平成29年度で改修工事が終了することから、事業経費としては削減となる。
--	---

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・来館者の利用に支障をきたさないよう改修工事を実施する。 ・施設の維持補修について、修繕負担基準額の変更及び修繕必要箇所等の情報共有方法を確立し、より効率的な施設維持管理を可能にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 修繕負担基準額設定に伴う協定書変更についての協議 ・平成28年11月～平成29年5月 改修工事実施設計終了 ・平成29年8月 入札・工事業者決定 ・平成29年8月～平成30年2月 改修工事実施 当初工事内容（カバー工法による屋根全面葺替え、全棟外壁修繕・剥落防止加工）のほか、工事中に露見した修繕必要箇所（屋上塗膜防水等）を足場を利用して実施。 ・平成30年2～3月 現場・指定管理者との協議による修繕必要箇所の特定及び役割分担決定

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0～18歳までの施設利用者数（人）	35,088.00	39,669.00	34,465.00	39,000.00	40,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	・安全安心な環境確保のための修繕必要箇所等の情報共有方法については、現場で把握している修繕希望箇所の把握と予算への反映、指定管理者との役割分担を第4四半期に行うことを定着させることができた。 ・指標値（0～18歳の利用者数）は大幅に減少したが、2～3月利用者数が前年度よりやや少ない程度であるため、原因が工事と特定できる（※）。このため、成果は横ばいと判断する。 ※工事期間中、臨時休館期間は設定しなかったが、特に低年齢児の安全を考慮して年齢別イベント等を				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	中高生の利用者数が伸び悩んでいるため、この年齢層に対し、利用者としてのみでなくボランティアスタッフとして参加することのできる事業企画を指定管理者に提案していく。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	39,733	39,565	174,722	43,207	39,700
	国・県支出金	0	5,544	5,576	5,576	5,576
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	923	314	314	314	314
	一般財源	38,810	33,707	168,832	37,317	33,810
正職員人工数（時間数）		0.00	160.00	137.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	656	562	0	0
トータルコスト		39,733	40,221	175,284	43,207	39,700

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	南守谷児童センター運営管理事業	担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	任意の事務
	基本事業	安心して遊べる場の提供	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030205-02 補助	根拠法令・条例等	児童福祉法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和62年度に、児童に健全な遊びを提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的に児童館が開館（久保ヶ丘地内）。その後、児童の健全育成のほか子育て支援拠点として新たな設置要望が高まり、平成15年度に守谷市児童館建設検討委員会が発足し、南守谷地区への新設も含めた施設整備について検討を開始。平成20年度に南守谷地区の児童センターとして開館した（指定管理者制度導入）。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法 指定管理者制度（(株)こどもの森） ・指定管理期間 平成28年度～32年度 ・児童センター業務 児童に対する集団的・個別的な遊びの指導（季節行事、制作活動等）、体力の増進や情操を育む講座やイベント、地域活動支援（子育てサークル・子ども会等の育成・支援）、異世代交流事業（地域住民及び高齢者との交流や異世代交流団体の支援） ・施設貸出業務 施設の利用許可、利用料金の徴収・維持管理業務 施設・設備の日常的維持管理及び保守点検
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか） 0～18歳までの児童とその保護者に対して、児童が安心して遊べる場を提供し、健康の増進と豊かな情操の発達を促し、児童の健全な育成を図る。また、保護者同士の交流の場や子育てに関する情報を提供して子育て支援を行うとともに、地域の高齢者との異世代交流等、地域と連携した行事開催をととして、地域コミュニティの育成を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿 子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・0～12歳までの児童及び保護者に対しては、子育てに関する情報提供や居場所提供等の機能を十分に果たしているが、13～18歳の児童に関しては、来館者数が頭打ちとなっている。 ・建築後10年が経過し、修繕が必要な箇所の特定と対応が必要となっている。 	【H29年度】 ・～12月 H28建築調査時の指摘箇所の対応優先度を決定 【H30年度】 ・～H30.4月 中高生利用内容の調査及び近隣中高施設の年間行事の把握 ・～H30.8月 近隣中高の行事開催時期と調整した事業及び活用機会の設定について検討 ・～H30.12月 次年度事業計画 ・年度中 劣化箇所の対応 【H31年度】 ・H31.4月～ 事業実施
改善内容（課題解決に向けた解決策） <ul style="list-style-type: none"> ・来館者（児）がボランティアとして児童センターや地域で活躍し、地域全体の子育て意識が醸成されるよう、中高生に対する事業周知と事業参加及び活躍の場を提供していく。 ・建築調査の機会を利用して劣化箇所の把握を行い、指定管理者と協議して計画的な修繕を実施する。 	

次年度のコストの方向性（→その理由）

<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	劣化箇所の対応のため、修繕費又は工事請負費の増大が予想される。
--	---------------------------------

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
施設の維持補修について、修繕負担基準額の変更及び修繕必要箇所等の情報共有方法を確立し、より効率的な施設維持管理を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 修繕基準額設定に伴う基本協定書変更についての協議 ・平成30年2～3月 現場・指定管理者との協議による修繕必要箇所の特定及び役割分担決定

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0～18歳までの施設利用者数（人）	47,292.00	47,815.00	46,944.00	47,500.00	48,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>安全安心な環境確保のための修繕必要箇所等の情報共有方法については、現場で把握している修繕希望箇所の把握と予算への反映、指定管理者との役割分担を第4四半期に行うことを定着させることができた。</p> <p>・指標値（0～18歳の利用者数）は前年度と同水準であるため、成果は横ばいと判断する。</p>				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>中高生の利用者数が伸び悩んでいるため、この年齢層に対し、利用者としてのみでなくボランティアスタッフとして参加することのできる事業企画を指定管理者に提案していく。</p>			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	38,470	36,663	38,882	42,272	39,100
	国・県支出金	0	5,544	5,576	5,576	5,576
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	682	841	841	841	841
	一般財源	37,788	30,278	32,465	35,855	32,683
正職員人工数（時間数）		0.00	95.00	50.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	390	205	0	0
トータルコスト		38,470	37,053	39,087	42,272	39,100

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	放課後子ども教室事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成19年度～
	施策	子育て支援の充実	種別	法定+任意
	基本事業	安心して遊べる場の提供	市民協働	
予算科目コード	01-100401-23 補助	根拠法令・条例等	社会教育法 守谷市放課後子ども総合プラン実施規則, 守谷市放課後子ども	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>児童が犠牲となる犯罪・事件が多発したことを背景に、子ども達が安心して遊べる場や色々な体験ができる場を提供するため、平成19年度から実施している。</p>	<p>放課後子ども総合プランとして、放課後児童クラブと連携させ、学校の校庭・体育館・特別教室などを活用し、平日の放課後に児童の健全な成長発達を図っていくための遊びやスポーツ・文化等の活動を安全にできる居場所づくりを行う。</p> <p>平成24年度から運営業務を民営委託しており、クラブマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用し、支援員と連携を図りながら実施する。</p> <p>[運営業務委託] 株式会社アンフィニ [今期委託期間] 平成27年4月1日～平成32年3月31日 5年間</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>放課後に小学校の施設を活用して、子ども達の安心・安全な活動場所を設け、異年齢で遊んだり地域の方々に子ども達の活動を支援してもらうことにより、子どもの交友関係の広がりや地域の教育力の向上につながり、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる。</p>	
(参考) 基本事業の目指す姿	
<p>子どもが、安全に遊び、学び、世代交流できる場を提供する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>この事業が始まって10年経過し、活動内容も周知されたことから平成30年度からは週1日参加のみの無料日は廃止することになった。来年度以降は、全日が有料となることから、今まで以上に活動内容の充実を図るために参加児童にとって何を楽しみにしているのか、どんなことをやってみたいのかといった利用者の声を反映する必要がある。</p> <p>また、年5回程度の体験教室日を設け、参加を促進する必要がある。</p>	<p>12月 アンケート素案作成 1月 アンケート内容確認 2月 アンケート配布 3月 アンケート回収</p> <p>次年度 4月 放課後子ども教室開始（希望者2～6年生） アンケート集計 5月 放課後子ども教室開始（希望者1年生） アンケート結果をもとに運営委託会社と活動内容について協議（活動内容によっては今年度から実施予定） 6月 放課後子ども教室体験日実施（希望者1～6年生） 通年 放課後子ども教室開設 ※ 学校行事等・週休日及び祝祭日・長期休暇中は開設しない。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>参加児童・参加児童保護者に対して、今後の活動内容の充実を図るために利用者アンケートを実施する。また、活動の様子を保護者にも見てもらう機会として、親子で参加するような活動内容を取り入れる工夫などとする。</p>	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>運営については委託会社で行っているため、債務負担の範囲で行う。放課後子ども総合プラン活動を行う上で、来年度に児童クラブの支援数が増え、携帯電話を必要とするため新たに計上する。また、プランで使用しているパソコン・プリンターのOA機器リースが平成29年12月末で終了し、リプレイスのため若干増額する。</p>

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の取組（評価、課題への対応）
放課後子ども教室を開設した当初は、週1回のみでの参加は無料日ということで事業周知を行ってきたが、事業開始10年経過し毎日参加する児童も増え、事業の定着が図られてきた。また、運営委員会・実行委員会でも無料日廃止の意見があり、受益者負担の公平性から無料日を廃止する経緯に至った。	実行委員会において、無料日廃止の承諾が得られたため、市内各小学校保護者に周知・規則改正を行った。無料日を廃止することについては、保護者からは苦言はなく理解をいただいた。また、社会教育委員の会議においても、「放課後子ども総合プランの充実と在り方」について議論していただき、提言を受けた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
子ども教室開設数（教室）	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
子ども教室参加児童数（人/年）	31,097.00	37,640.00	34,434.00	25,000.00	25,000.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	平成30年度4月からの子ども教室参加登録児童（新2年生から新6年生まで）は、前年度3月現在の有料登録児童数（1年生から6年生）とほぼ同じである。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	年度末に、子ども教室に参加する児童（児童クラブ・子ども教室）を対象に、簡単なアンケートを実施した。来年度にかけてアンケート結果をまとめ、参加児童の意見を参考に活動内容の見直しを運営委託会社と協議していく。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	56,306	56,345	56,170	57,738	57,738
	国・県支出金	13,273	12,672	12,834	11,110	11,110
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,750	5,715	4,952	5,719	5,719
	一般財源	38,283	37,958	38,384	40,909	40,909
正職員人工数（時間数）		0.00	526.00	728.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	2,157	2,985	0	0
トータルコスト		56,306	58,502	59,155	57,738	57,738